

平成27年度 第2回学校協議会（議事録）

出席者（敬称略）

池田委員長、新宅委員、石井委員、中津留委員、佐野委員、東崎委員

校長、教頭、事務長、奥田、出向井、長束、親、荻野、城山、農端、今井、闖闖、上遠野、三谷、美馬、
油田、林、中西、加藤、大橋

1 校長あいさつ

2 事務局紹介（奥田首席）

3 報告事項

（1）平成27年度進路状況について（長束首席）（別紙P4）

- ・違反質問はあったのか

（2）平成27年度資格取得状況について（今井総務主任）（別紙P5）

- ・生徒はどうやって取得する資格を選んでいるのか

（3）平成27年度部活動の状況について（出向井首席）（別紙P6, 7）

4 協議題

（1）支援教育について（親指導教諭）（別紙P8～17）

（2）協議委員からの意見等

実情について

■ 1学年10名程度存在。見えない生徒を含むと全体の約8%

- ・ 優秀な成績だが「わがまま」に取られる。大学理工系に多い。
- ・ 大学でも支援を必要とする学生は多い。
- ・ 企業にも存在する。
- ・ 親が認めないケースがある。
- ・ うまくまわっているというのはどう判断するか

支援指導について

■ 支援教育委員会で支援カードと保護者アンケートにて支援を必要とする生徒の実情把握を行い、個別の教育支援計画を立て、支援している。

- ・ 勉強会を行うと職員の意識が上がり、教育の質の向上につながる。一人ひとり話をすると良い。
- ・ 自分の言葉で人に伝えられる工夫が必要。
- ・ 特性を生かした指導。同じ対応は通用しない。
- ・ 大学では耐性づくりと考えている。
- ・ 親御さんの協力が必要
- ・ 社会的支援も必要
- ・ 卒業後の見通しをつけた支援が必要
- ・ 富山大学は支援についてのDVDがある。参考にしては。自分で把握していく方法などがある
- ・ フィジカル面とメンタル面
自立支援を望んでいる方が多い。
- ・ ハード面とソフト面の両方が必要
ハード面は、自動ドアや障害者用WCや手すり等の設置

ソフト面は、淀工の特色であるクラブ活動への参加が期待できる。

事実クラブ活動に参加し、効果をあげている。

- 淀工はクラブ活動に参加した結果、支援についてだいぶ緩和されているのではないか。
- 支援指導計画について
 - 指導計画に課外活動（クラブ活動への参加）を盛り込んだらいいと思う。
 - 当該生徒の人数を正確に把握して欲しい。
 - 個人情報には細心の注意が必要。ネットワークセキュリティーについてもキチンと答えられるようにしておく。

(4) その他

- 次回会議の自己評価は◎か○で。△はいらない。
- 継続事項にするのか、終了にするのかをはっきり決めておいて欲しい。また新規事項は1つか2つで充分。それ以上は必要なし。（無理である）

【諸連絡】第3回学校協議会 3月25日～29日の内の1日を予定（詳細は後日連絡）